

サルの生態・特徴と対策



これってサル？

！危険信号！



足跡



食害



生態について

- ・活動時間は日中で、**夜間は活動しない。**
- ・**雑食性**で、植物性のものを中心に食べる。（肉や魚は好んでは食べない。）
- ・群れはメスと子どもを中心に構成され、十数頭～百頭を超えることもあるが、増えすぎると分裂することもある。
- ・オスは大人になると群れから離れ、別の群れに移動したり単独で行動するようになる。
- ・ある程度決まった独自の行動範囲の中で、**周期的に移動**する。（旬なものを求めて行動）
- ・通常、2～3年毎に1頭を出産するが、栄養状態が良いと毎年産むようになる。

特徴について

- ・視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚は人間とほとんど一緒。
- ・運動能力に優れ、木登りやジャンプが得意。
- ・長距離を走るのは苦手で、安全な場所から離れるのを嫌がる。
- ・**記憶力**は抜群で、一度味わった恐怖体験は忘れない。
- ・新しいものや状況には警戒するが、いったん慣れると大胆に行動する。
(『**人慣れ**』が進むと追い払いは困難になる。)

対策について

まず、

『**サルにとって魅力のない環境**』にする必要があります。

柵の設置や捕獲は、この確認をしてからにしましょう。

詳しくは、裏面をご確認ください。

サルが出没しづらい農地・集落へ

サルに学習させること

サルは非常に頭がいい...これを逆にとる！

- ①この農地でエサを食べるには、苦勞するし、割に合わない！
- ②人に見つかると、怖い目に合う！



野菜クズや生ゴミを捨てない。



収穫しない果樹は伐採する。



潜み場所をなくす。

同時にすることは...

食う物ない
じゃん！



追い払い！



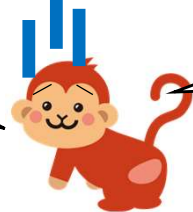
ロケット花火



追い払いは、集落全体で根気強くすることが、ポイント。ロケット花火以外では、石を投げたり鍋を叩いたりも有効。

最終的には...

食う物ないし、怖い目に合うし。



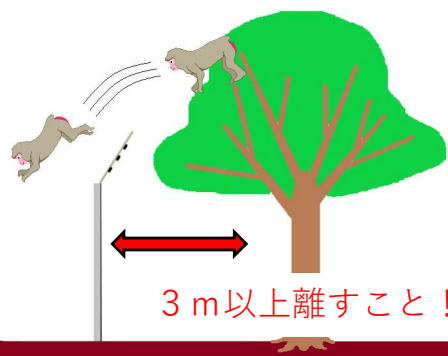
この集落に来て、いいことがないなあ。

防護柵の設置について

サルを登らせて感電！



電気複合柵が有効
(シカ・イノシシ兼用)



3 m以上離すこと！

【設置のポイント】

- ①目合いは、**10cm×10cmが基本！**広いと、サルが通り抜ける。
- ②柵の周辺に、**高いもの（木や塀）がない**ように！3 mは離さないと、侵入！

防護柵の詳細については、『**鳥獣被害対策の手引き**』を御覧ください。